

# 第49回 メディアとことば研究会

2017年9月15日(金)

15:00～18:00(14:30受付開始)

於 大阪大学大学院言語文化研究科

A棟2F大会議室(豊中キャンパス)

(<http://www.osaka-u.ac.jp/ja/access/toyonaka/toyonaka.html>)

参加費無料

「メディアとことば研究会」HP

<http://www.hituzi.co.jp/kenkyukai/media-kotoba.html>

※参加ご希望の方は、メディアとことば研究会事務局 [medialalala\\*\\*gmail.com](mailto:medialalala**gmail.com) (\*\*は@)まで、お名前・ご所属をお知らせ下さい。

準備の都合上、9月14日(木)までにご連絡下さい。(当日の飛び入り参加も歓迎します。)

## プログラム

14:30-15:00 研究会受付  
15:00-15:05 研究会紹介  
15:05-15:15 導入(秦)  
15:15-15:45 発表1(佐藤)  
(発表25分、質問5分、以下同)  
15:45-16:15 発表2(秦)  
16:15-16:45 発表3(岡本)  
16:45-17:00 休憩  
17:00-17:10 出席者自己紹介  
17:10-17:55 議論  
17:55-18:00 研究会お知らせ

## ◎パネル発表 核をめぐる記録と記憶

—メディアにおけるHIROSHIMAとFUKUSHIMAのストーリー—

## ○発表者 佐藤彰・秦かおり・岡本能里子

発表1……佐藤彰(大阪大学)

原発事故を報道する米紙の和訳記事は「大本営発表」だったか

—ウォール・ストリート・ジャーナル日本版における原発事故関連報道の批判的談話分析

発表2……秦かおり(大阪大学)

結び直される記憶

—メディアにおけるナラティブ性とHIROSHIMAの集合的記憶

発表3……岡本能里子(東京国際大学)

オバマ広島訪問におけるメディア報道のマルチモード分析

—プラハ演説『核兵器なき世界』との比較を通じた「記憶」の再文脈化

ひつじ書房 新刊

会話分析の基礎

高木智世・細田由利・森田笑 著 定価 3,500円+税



日常会話の詳細な分析から相互行為の秩序を明らかにする「会話分析」という研究分野が近年注目を浴びている。豊富な事例と課題を通して、その研究の視点や基礎を学ぶ入門書。

〒112-0011 東京都文京区千石 2-1-2 大和ビル 2F

TEL: 03-5319-4916 FAX: 03-5319-4617 [toiawase\\*\\*hituzi.co.jp](mailto:toiawase**hituzi.co.jp) (\*\*は@)

ひつじ書房

